

磐田市



桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第258号 2025年11月号 だより

開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



あき ふか 秋が深まりました。桶ヶ谷沼はアカトンボでにぎわっています。

11月になりました。桶ヶ谷沼では、やっとアカトンボの数が増えてきました。

令和4年度までは、センター行事「アカトンボ観察会」を10月中下旬に開催していましたが、年々そのころ見られるアカトンボの数が少なくなり、最近では11月になってやっと増えてきたと感じられるようになってきています。アカトンボが確実に見られる時期が確定せず、残念ながら令和5年度からは「アカトンボ観察会」を開催できなくなりました。

現在、桶ヶ谷沼で見ることができるアカトンボはアキアカネを含め、ナツアカネ、ヒメアカネ、リスアカネ、ノシメトンボ、コノシメトンボ、マユタテアカネ、マイコアカネの8種類ですが、目にすることができるアカトンボの多くはアキアカネです。

12月中旬まではアカトンボを観察できます。桶ヶ谷沼でいろいろな種類のアカトンボを見つけてください。

たび 旅をするトンボ：アキアカネ



アキアカネ♂

アキアカネは6月ごろ水田や池沼などで羽化をします。その後、羽化した場所の近くの林などで数日間餌をとり長距離飛行に必要なエネルギーを蓄えます。十分に体力がついたころ、高い山に向かって長い距離を飛行します。その理由は避暑のためです。アキアカネは他のアカトンボ(アカネ族)に比べて暑さに弱い性質があるようです。その後平地の気温が下がった秋の中旬平地に降りてきます。

近年アキアカネの見られる時期が遅くなっているのは、10月になっても平地の気温が適する温度まで下がらないためと考えられます。

見られる時期が遅くなっているとともに、個体数そのものが減ってきています。その理由は、適する生息場所の減少や、湿地や水田の環境の変化、気温の上昇などが考えられます。童謡「赤トンボ」(作詞：三木露風、作曲：山田耕筰)の4番「とまっているよ、竿の先」で歌われるほど身近なアカトンボのアキアカネですが、その数が少なくなっているという事実がさみしいです。



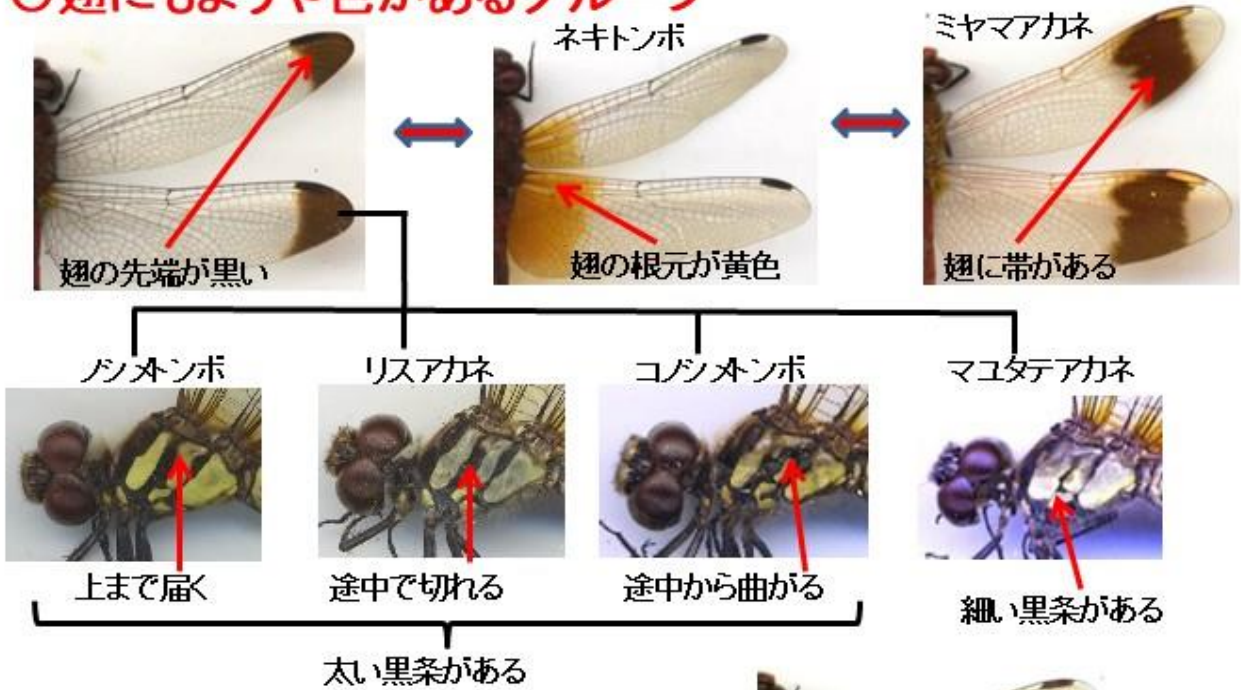
アキアカネ♀

アカトンボの見分け方を紹介します。

まず、^{はね}翅に模様や色がついているかどうか、また、模様や色の^{つきかた}付き方を見ます。
次に、^{むね}胸の黒条のようすを見ます。
下の図を参考にしてみてください。

アカトンボの見分け方

○翅にもようや色があるグループ



○翅にもようや色がないグループ

